

いこいの村 大田千枝子

題字 梅の木寮

2015年（平成27年）4月20日発行

第395号

発行責任者 いこいの村聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

編集 いこいの村編集委員会
〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>



女子会 桃の節句 お寿司パーティー

梅の木寮の



梅の木寮3階フロアで、3月の桃の節句にちなみ、女性利用者全員で女子会をしました。

「お雛祭は何かするの?」「好きな食べ物は寿司!食べたいな」「若い頃は仕事帰りに河原町の寿司屋さんで握り寿司を食べるのが楽しみだった」「お寿司食べたいな...でも、お店までは遠いな...」そんな普段の会話を大切に、日々の生活援助に活かしていきます。

飲み込みの難しい方にはお粥と刺身を目の前で刻むなどの工夫をしました。いつもは少食の方も、好きな握り寿司となると、一人前をペロリと食べられました。

これからも、皆さんと一緒に楽しい企画を考え、行ないたいと思います。次は、端午の節句に男子会でしょうか...。

(いこいの村・梅の木寮)

第1課 永井千鶴

楽しく美味しく食べる喜びを!

「5人囃子に笛太鼓 今日
は楽しいひなまつり」と、手
話歌で合唱しました。

栗の木寮の仲間たち(利用
者)の平均年齢は、61歳です。
(49名中75歳以上の高齢者
6名。60歳以上が30名)聴
覚障害の他に知的・精神・肢
体・視覚障害などがあります。
昭和57年5月開所から33
年が経ち、仲間の高齢化も進
んでいます。

大切にしたい行事食

そついった中、暮らしの潤
いを創り出すために、「ひなま
つり」等の行事食の取組みは、
大切です。豊かな日本の食文
化を味わうことで、日常の楽
しみにつなげていきます。
行事食によって、古来の暮
らしを想像し、その時代に思
いを馳せることが出来ます。

普段は大きな食堂で、40人
皆で食事をするのですが、今
回は4つのグループに分かれ
て、会話を楽しみながら散ら
し寿司を仲間が自分で盛付す
ることから楽しみました。



盛付完成だあ〜

現在、栗の木寮の中長期計
画の中でユニット型個室への
改修計画を検討しています。
そして、暮らし方の願いを
出し合う「ワークシヨップ」
を行いました。最初に、ユニ
ット化された梅の木寮を見学

しました。

ユニットには、個室や10人
程度のグループで食事ができ
る食堂、一人で入るお風呂場
などがあります。見学を通じ
てこれからの暮らしのイメー
ジを投げかけてみました。

盛付って楽しいなあ

個室化を望み、歓迎する仲
間もいれば、自身が持つ思い
を十分に、伝えることのでき
ない仲間もいます。仲間たち
の隠れた思いや願いに寄り添
い、引き出していただくためにも、
今回の盛付は意味がありました。

「各ユニットで作られる3
度の食事は、誰が作る?」「職
員と一緒にやらせてみるもい
い」と、Aさん。
今回、Aさんは積極的に、
盛付をされました。食いたい
量を、きれいに盛り付けてい
きます。いつもは20分で終了
する昼食ですが、「見たためもき

れいに食欲がわくように用
意してね」と、話も弾み、い
つもよりもゆったりと食事を
楽しみました。好きな仲間と
好きな場所で、安心して楽し
く食事することの大切さを体
験できました。

この雰囲気、『楽しい』を連れてくる



普段と違う食事風景を、仲
間の自治会と一緒に企
画し、その過程を楽しみまし
た。そして、これからも気持
ちが動く充実と感動の時間を、
たくさん共有していきたいと
考えています。

(いこいの村・栗の木寮

滝野千里)

介護のワンポイント

立つ力が弱くなった方でも、
本人の力が引き出せると、本
人も介護者も、楽に立ち上が
りができる場合があります。
できれば、本人も介護者も一
緒に、タイミングが合うよう
に練習してみてください。



- ① 動き出す前に、本人が何のために立ち上がるのか分かるように伝える。
- ② 本人の足を肩幅に開き、足に体重がかけられる姿勢を整える。
- ③ 本人に前かがみになってもらい、介護者も腰を落とし、前から抱え、掛け声をかけ、一緒に立ち上がる。お互いに負担が少なく立ち上がることが出来ます。

聴こえの基礎知識

〜聴こえの基礎知識〜

突然ですが…

皆さんに質問です。

【問1】 あなたの視力はいく
らですか?】

最近、視力測定をしていな
い方でも、大体の方はおよ
その視力を把握されているの
ではないでしょうか?

では続いて…

【問2】 あなたの聴力はいく
らですか?】

「聴力?」視力は答えられ
ても聴力は答えられない方が
多いのではないのでしょうか。

「アフリカの人は視力が40
とかあって遠くの動物も見え
るらしいでー」「最近、目が悪
くなってきた、この前の免許
更新で『眼鏡等』って書かれ
てしまった…」等、目の事はよ
く話しのほりますが、聴力に
対する認知度は大きく遅れて
いるように感じます。

「聴こえ」について

① 聴こえは様々です。

高い声が聴こえにくい方
また逆に低い声が聴こえにく
い方がおられます。また、音
が小さく聴こえる方もおられ
れば、歪んで聴こえる方もお
られます。このように聴こえ
は人によって様々です。

② 「大きな声を出せば伝わ
る」のでしょうか?

聴き取れない相手に対して
私たちはつい大きい大きな声で
話してしまいます。ですが、
大きな声を出して話すと、聴
こえない人は怒鳴られたよう
な印象を持ちます。また大き
な声を出す時、表情が怒った
ようになります。

大音量で流れているけれど
割れた音のスピーカーをイメ
ージしていただければ分かり
やすいかと思えます。

「音が鳴っている」のは分か
るのですが、「何が鳴ってい

る」のかが分からない。こう
いったことも往々にしてあり
ます。「ゆっくゆ」は「きり
と話した方が伝わりやすく、
聴こえやすいです。

「おかしいな」と感じたら
お気軽に!

明らかな痛みや異変がある
場合は、すぐに耳鼻科にかか
ってください。

「病院に行くまでもないんだ
けれど…」という時は、お近
くの聴言センターやいこいの
村などにお気軽に相談くだ
さい。



どうぞお気軽に
ご相談ください!

(地域福祉部地域生活支援課

笹田大輔



いこいの村
聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

前任の柴田所長が城陽市に
新たに開設する、京都府聴覚
言語障害センターに異動し、
4月から後任の所長を務めま
す。

私は梅の木寮開所2年目の
平成5年に入職し、同時に地
元口上林の住人となりました。
早いもので今年で23年目を
迎えます。今や綾部東部地域
は私の第二のふるさとになり
ました。

「耳の聞こえない人と、ど
う接したらよいかわからんで
不安やった」「前理事長の岩崎
さんはほんまに熱心な人やつ
たなあ」「地域で手話教室も開
いて迎え入れる準備をしたん
やで」等々。

ケアマネジャーやヘルパー
として在宅の高齢者福祉を担
当していた際、栗の木寮建設
運動当時の様子を、折に触れ
地域の方から聞かせていただ

きました。

栗の木寮開所式で初代梶谷
所長が、「施設づくりは単なる
箱物づくりではない。地域か
ら人が通い、地域の課題を一
緒に考えながら、人にやさし
い地域(村)づくりをする」
とであること挨拶しました。

栗の木寮開所から34年目。
初心を忘れず、いこいの村建
設運動に関わっていたいた
多くの皆様の思いを引継ぎ、
法人理念である「聞こえやこ
とばに障害がある人ひいては、
すべての人々の社会への『完
全参加と平等』をめざす」こ
とができるよう、センター職
員215名とともに、新年度
のスタートを切りました。
引き続きのご支援をよろし
くお願いいたします。

みんなの手話



(地域)
左手のひらの上に右親指を立てて
一指し指をコンパスのように回す。

